

## 8 中学校

### (1) 目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

第1: 「広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し」

＊中学校社会科の基本的なねらいにかかわるもの

- ・ 広い視野に立って：
  - ・ 社会科の学習が目指している多面的・多角的な見方や考え方にかかわる意味
  - ・ 国際的な視野という空間的な広がりにかかわる意味
- ・ 社会に対する関心を高め：
  - ・ 社会科の特質を踏まえて学習の過程を大切にす
  - ・ 生徒自ら社会的事象を見だし、それについて課題を設定し追究する学習を重視する
  - ・ 学習を通してさらに関心が高まることなどを旨とする
- ・ 諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し：
  - ＊社会的事象はそれをとらえる観点によって大きく見え方が変化することから
  - ・ 資料を適切に収集、選択、処理、活用し、それらの資料に基づいて多面的・多角的に考察し公正に判断する態度を身に付けさせることを、情報化の進展に対応する観点も踏まえて重視したもの
- ・ 多面的・多角的：
  - ・ 多面的：学習対象としている社会的事象が様々な面をもっていること
  - ・ 多角的：そうした社会的事象を様々な角度から考察し理解すること
  - ・ これらを相互に関連付けることによって、社会科の特質であり基本的なねらいである能力や態度を育成することができる

第2: 「我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い」

- ・ 中学校社会科三分野の学習が旨とするねらい
- ・ 教科の基本的な構造
  - ・ 地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開するという中学校社会科の基本的な構造に留意して、公民としての基礎的教養を培うことを旨とする
- ＊国土と歴史に対する理解と「愛情」：
  - ・ 広い視野に立って我が国の国土や歴史に対する理解を深めさせた上ではぐくまれるものであり、偏った理解の上に立つものではない

第3: 「国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う」

- ・ 第2で示した三分野の学習を通して育成する資質
- ・ 公民的資質の基礎を養う：
  - ＊小・中学校の目標に一貫した文言であり、社会科の究極のねらいを示している